

## 第2回総合計画審議会(書面開催)質問一覧

### 1-1-2 農業生産性の向上と経営基盤支援

質問	農業の現場におけるICTの活用とはどのような内容なのでしょうか？具体例を挙げていただくと助かります。
⇒回答	農業ICT活用の具体例としては、例えばGPS(全地球測位システム)を活用したトラクター自動操舵で経験の浅い農業者の確実なトラクター作業実施を可能としたり、GPSとGIS(位置情報システム)を活用した収穫等の農作業管理の実施のほか、センシングデータからマップを作成して可視化することで、可変施肥・可変散水及び収穫を行い、生育、収量及び品質の均一化を目指すなどが行われている。 農業ICTの活用により、従来の経験・熟練による農業から、コンピューターによる分析・処理により誰でも手軽に膨大なデータに基づき農作業を実施できる可能性があります。町では、令和3年度に農業ICT活用の環境整備となる農村部光ファイバー網の整備を実施しています。また、来年度には町内8か所に設置・運用している農業気象情報機器を後継機に更新するとともに10個所に増設して、蓄積した気象データの分析活用により、気象変動に対応する適期作業の推進に活用する予定です。

### 5-2-1 効果的効率的な行政運営

質問	2020年度の事務事業の総括でテレワーク環境の整備を行ったとありますが、どのように取り組まれたのでしょうか？テレワークの業務内容も併せて教えていただければ幸いです。
⇒回答	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、より効率的・効果的かつ多様な働き方環境を整えるため、テレワーク環境を整備しました。 これまで役場庁舎でパソコンを使用して行っていた業務は、役場庁舎以外ではデータにアクセスすることやシステムの利用が出来なかったものが、ネットワーク環境整備により、テレワーク(在宅勤務)の実施が可能になりました。 業務内容については、各所属部署により異なりますが、役場にてパソコンを使用して行う通常業務と同様の業務を行っております。

### 5-2-2 健全な財政運営

質問	全道規模では144町村ある。令和元年度の順位は21番目。十勝管内は他の管内より徴収率が高い地域。十勝管内だと19市町村のうち8番目となっている。 全道は町村ベース、十勝管内は市町村ベース帯広市が入っております。カウントは町村ベースにすべきではないでしょうか？
⇒回答	全道の市町村税徴収率については、市と町村に分けて順位が出されていることから、町村ベースで回答いたしました。十勝管内も全道に合わせ、町村ベースでお答えすると18町村のうち8番目になります。